宮前区のミライづくりプロジェクト

＼みんなで考える／
現 宮前区役所等施設・用地の活用

検討の背景と経緯

川崎市では、鷺沼駅周辺の再開発の機会を捉えて、宮前区役所・市民館・図書館の鷺沼駅への移転を予定しています。

移転予定時期を踏まえ、現施設・用地活用の基本的な考え方を定める「**(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針**」(以下「活用基本方針」という。)を策定します。

皆さまのご意見を伺いながら、地域課題の解決や行政需要に対応した活用となるよう、検討を進めます。

いま宮前平にある
宮前区役所、宮前市民館・図書館をまとめて
「**現区役所等施設・用地**」と呼んでいます

検討の基本的な考え方

① 市による施設・用地保有

- 一定規模のまとまった公有地であること、地域課題の解決に資する活用の可能性を検討する必要があること等から、市が保有し続けることを基本とし、その活用方策を検討します。
- 市による保有を前提に、活用方策を検討します。

② 宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理

- 宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理します。
- 宮前区全体の魅力や安心安全の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう検討します。

③ 市民参加による検討

- 検討過程の透明性の確保に努めるとともに、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保します。

活用に向けた市民参加による検討の進め方

現在の「地域課題やニーズ」と今後の「環境変化」の２つの視点を踏まえ、活用の検討を進めます。皆さまのご意見やニーズをより反映した検討内容とするため、様々な市民参加の機会を設けます。

また、検討過程を皆さまと共有するため、継続的に情報発信を行います。

現区役所等施設・用地の活用に向けた検討

地域課題・ニーズ × 環境変化（人口動態や生活様式等の変化）

2つの視点を踏まえ、活用の検討を進めます

市民参加の手法
ヒアリング、アンケート、ワークショップ

資産マネジメント第３期実施方針
中長期的視点から、施設の多目的化・複合化等の資産保有の最適化を重点的に推進するための考え方をとりまとめた、「資産マネジメント第３期実施方針」との整合を図ります。

情報発信
検討状況の情報を広く発信していきます

発信方法
ニュースレター、ホームページ掲載

今後のスケジュール

※ 再開発事業や現区役所等の移転などの全体の取組スケジュールや、当該地区を取り巻く環境の変化等を踏まえて、検討スケジュールを見直す可能性があります。

引き続き、関係団体等へのヒアリングを実施するとともに、ヒアリングやアンケート調査でいただいたご意見を踏まえ、市民ワークショップを実施し、令和６年度に基本的な考え方、令和７年度に活用基本方針の策定を予定しています。策定後は、活用基本方針に基づき取組を推進します。

～令和４（2022）年度
- **関係団体等への説明・ヒアリング**（R3）第1回
  市から取組の説明
  現施設の利用状況の確認
- **区民意識アンケート**（R4）
  地域課題や市民ニーズ等の確認

令和５（2023）年度
- **関係団体等への説明・ヒアリング** 第2回
  地域の課題や必要な機能の確認
- **市民検討ワークショップ**
  現施設・用地で実現したいことや、求める機能の検討

令和６（2024）年度
- 現施設・用地の活用に関する
  基本的な考え方の策定
  活用基本方針の骨子として、現施設・用地の活用コンセプト案や導入機能のイメージ案、今後の進め方などの取りまとめ

令和７（2025）年度
- **活用基本方針の策定**
  現施設・用地の活用コンセプトや導入機能のイメージ、今後の取組等の取りまとめ

令和８（2026）年度～
- 活用基本方針に基づく
  取組の推進
  民間事業者のノウハウの活用など、整備に向けた更なる検討を実施

問い合わせ先 川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL：044-200-0755 FAX：044-200-3627

取組の最新情報 ▶

現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた

区民意識アンケートの結果

宮前区役所・市民館・図書館の移転後の現区役所等施設・用地の活用について、区民の皆さまのご意見やニーズを幅広く把握するために、アンケートを実施しました。結果の一部をご紹介します。

実施概要

実施期間：令和４（2022）年６月１日～７月４日
対象者：宮前区在住の満 10 歳以上 2,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）
回収数：　1,038 件　回収率：　51.9%

≪市ホームページ≫

アンケート調査結果の全体はこちらから

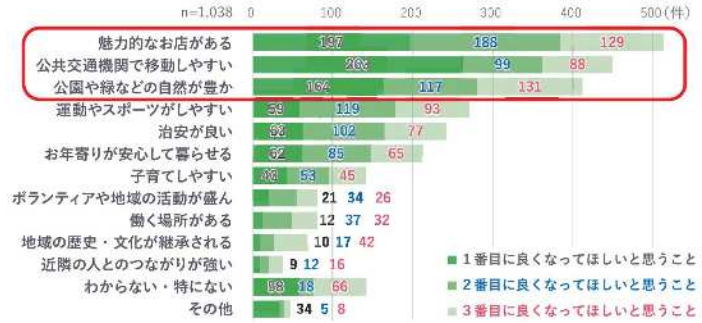
年代や居住地域

年代

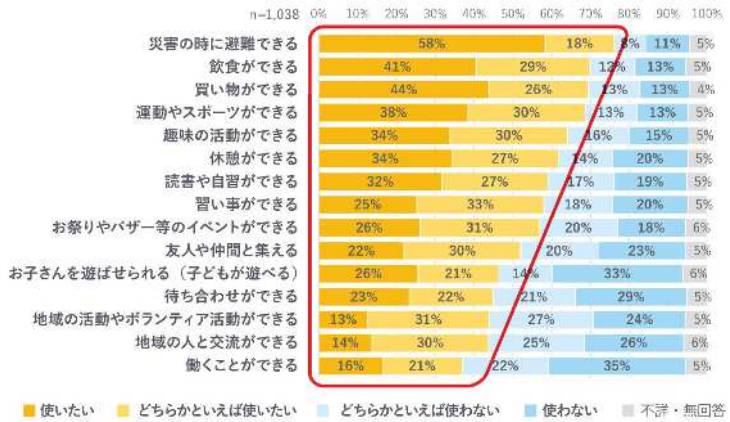
居住地域

基本集計

Q 現在の宮前区役所・市民館・図書館がある周辺の地域について、将来、どのように良くなってほしいと思いますか？ ［アンケート問７］



Q 区役所・市民館・図書館が移転した後に、現在の宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地をどのように使いたいと思いますか？ ［アンケート問８］



クロス集計

年代

TOP 3 の項目について、
どんな年代が「1番目に良くなってほしい」と思っている？

① **魅力的なお店がある**
- 10 代から 50 代までの比較的若い世代で「魅力的なお店がある」を望む割合が高い
- とくに 30 代（29.8%）、40 代（28.3%）が、「魅力的なお店」を選んでいる

② **公共交通機関で移動しやすい**
- ほとんどの年代で「公共交通機関で移動しやすい」を望む割合が高い
- 中でも、20 代～60 代は、各年代の 25%以上が選んでいる

③ **公園や緑などの自然が豊か**
- 10 代、60 代以上のそれぞれの年代で 15% 以上が「自然が豊か」を選んでいる

居住地域

地域での違いは？
- 「魅力的なお店がある」ことについては、現施設・用地に近い地域のほうが遠い地域より、多くが選んでいる
- 「公共交通機関で移動しやすい」ことについては、現施設・用地から遠い地域のほうが、より多く選んでいる
- 「公園や緑などの自然が豊か」なことは、お住まいの地域に関わらず、ニーズがある

年代

各年代の「使いたい」と「どちらかと言えば使いたい」が選ばれた割合の TOP 5 項目は？

	10歳代 n=84	20歳代 n=67	30歳代 n=121	40歳代 n=180	50歳代 n=219	60歳代 n=146	70歳代 n=125	80歳以上 n=61
1位	災害時に避難できる 88.1%	災害時に避難できる 91.0%	運動やスポーツができる 飲食できる 94.3%	運動やスポーツができる 60.0%	災害時に避難できる 77.6%	災害時に避難できる 76.0%	災害時に避難できる 67.5%	災害時に避難できる 63.0%
2位	飲食できる 64.5%	運動やスポーツができる 74.6%		買い物ができる 79.4%	買い物ができる 77.2%	運動やスポーツができる 66.4%	飲食できる 買い物ができる 休憩ができる 60.2%	休憩ができる 45.7%
3位	運動やスポーツ 買い物ができる 読書や自習 62.1%	趣味の活動ができる 73.1%	災害時に避難できる 81.8%	飲食できる 76.9%	飲食できる 73.1%	飲食できる 65.8%		趣味の活動ができる 43.2%
4位		読書や自習 休憩ができる 71.6%	買い物ができる 77.7%	災害時に避難できる 75.6%	運動やスポーツができる 71.2%	休憩ができる 63.7%		お祭りやバザー等のイベントができる 39.5%
5位			子どもが遊べる 71.9%	趣味の活動ができる 70.6%	趣味の活動ができる 68.3%	趣味の活動 買い物ができる 62.3%	趣味の活動ができる 54.8%	買い物ができる 38.3%

※ 割合（%）は、各項目の年代単位の回答の割合を示すものです。

居住地域

地域での違いは？
- 地域別では、傾向に大きな差はなかった
- ほとんどの項目で、現施設・用地が含まれる区分のほうが、それ以外の地域と比べて、「使いたい」「どちらかと言えば使いたい」のニーズが高い

現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた

関係団体等ヒアリング（第2回）の結果

令和5年6月から9月にかけて、宮前区で活動する団体等の皆さまにヒアリングを行い、日頃の活動や取組を踏まえて、現区役所等の施設・用地にあったら望ましい機能について伺いました。
ここでは皆さまからいただいた主な意見を紹介します。

『望ましい機能』についての意見

災害対策

- 災害時の総合的な活動の拠点
- 避難所には収まりきらない住民が一時避難できる場所
- 避難者の緊急的な診療ができる場所
- 救援物資が備蓄できる場所
- 平常時は、屋外ならスポーツやレジャー、屋内なら体育館として活用し、災害時は避難場所に
- 警察や消防が隣接している立地を活かす
- 防災に関することを学ぶことができる場所
- 防災訓練ができる場所

運動・スポーツの場

- 高低差を利用した公園
- 悪天候でも遊べる屋内型の公園
- 健康器具のある公園
- 緑が豊かな場所
- 遊歩道や噴水、屋上緑化等がある憩える場所
- プール、スケート場、体育館
- ボルダリング、スケボー、ダンスなど、若者を呼び込む施設
- 市民館の体育室程度の小規模な運動施設

様々な団体が活動できる場

- 様々な人数・時間帯で多目的に使える部屋
- 現在利用している団体が、継続して利用できる場所
- 団体が自由に使える場所
- 自由に使えるようにするよりも、目的は絞っていくべき
- イベントができる場所

相談ができる場

- 区の窓口機能や相談機能の一部
- 子育て・妊婦相談ができる場所

交流ができる場

- 色々な人が気軽に交流できる場所
- 気軽に集まってお茶が飲める場所
- 休憩できる場所

文化活動・学習の場

- 音楽活動や公演ができる防音機能の備わった部屋や空間、ホール
- 自習室や、貸し出し等の図書館機能
- 色々な学校が特別学級で使える場所

その他

- 区役所市民広場でのダンスを通じた交流の場の継承
- 中小企業やベンチャー企業が集積する場所
- 中規模の病院や大学の誘致
- カフェやコンビニ、ショッピングセンター
- 関係団体の資材保管庫、町内会館

●ヒアリングした団体

宮前区で活動している

28 団体

●ヒアリングの内容

現区役所等施設・用地にあったら望ましい機能について

その他の意見

活用手法

- 若者が集まってくる場所に
- 子どもが色々とチャレンジできる場所に
- 子育て世代や若者が大いに活用できる場所に
- しばらくは更地として、暫定的な利用をする
- 今の建物を活かして、現区役所の文化を継承してほしい
- 夜間や土日も使えるように
- PFIやクラウドファンディングを活用する
- 民間店舗を誘致し、収益を入れる
- 屋内空間・屋外空間は両方あった方がいい
- バリアフリーに配慮した建物に
- 大規模な建築物よりは、簡易な建物というイメージ
- ターゲットを絞った特色ある施設
- 商業施設やマンションは適さない

検討の進め方

- 区全体のことを考えて、区民が本当に「必要としている」ものに
- 生活スタイルの変化を考える必要がある
- 宮前区独自の魅力をアピールできるように
- 今回のような団体へのヒアリングを継続してほしい
- 行政が一方的に決めるのではなくて、情報は市民に丁寧に周知してほしい
- 改修・改築などを含めた活用の方向性を早く明らかに

交通、アクセス面

- 駅からのアクセスの改善が必要（循環バス、デマンドバス等）
- 駐車場の確保が必要

その他

- 他の公共施設（学校、消防署、休日急患診療所）の移転

たくさんのご意見ありがとうございました

ワークショップの開催など、今後も皆さまの意見を伺いながら検討を進めます